

花 4月～5月

クルミ科

## サワグルミ

日本全国の沢など山間の湿った場所に生える。和名は、沢沿いに生えることから付けられた。クルミと名が付くが、食用にはならない。

樹高は30mほど。葉の形は大形で羽状複葉。花期は4～5月頃。淡黄緑色の単性花を密生した尾状の花序を垂らす。果実は2個の小苞が残った翼のある堅果を付ける。

木材は黄白色の光沢があり、建築、パルプ、下駄、マッチの軸木・箸・経木などに利用される。日陰で湿った土地でも生育し、高木となるため、荒廃地を復旧するため治山用の植樹にも用いられる。



花 5月～6月

スイカズラ科

## タニウツギ

落葉小高木で、田植えの時期に花が咲くので「田植え花」としても知られる。梅雨の時期に山道を通ると新緑の中で咲くピンクの花はひときわ映えて見えるので見つけやすい。

樹高は2-5mになる。樹皮は縦に裂け、新しい枝は赤みを帯び、無毛か2毛条がある。葉は長さ3-10mmの葉柄をもって対生し、葉身は長さ4-10cm、幅2-6cmになり、徒長枝につく葉はさらに大きくなる。形は卵形、長楕円形または倒卵形、先端は鋭先頭で尾状となり、基部は円形またはくさび形で、縁には鋸歯がある。花期は5-6月。



花 3月～4月

カバノキ科

## ツノハシバミ

幹は直立し高さ4～5m、径約15cmになる。樹皮は灰褐色で滑らかだが皮目が目立つ。若枝は灰緑色。花期は3～4月頃で葉の展開に先立って花が開き、雌雄同株、雌雄異花。雄花はカバノキ科の他の仲間と同様に尾状花序を開花時に下垂する。果実は9月から10月に熟し、1～4個が集まって付く。

果実は堅果で長さ1～1.5cmの円錐形。果実を包む筒状の総苞は緑色で外面に刺毛を密生し、くちばし状に長く伸びた独特の形であることからツノハシバミの和名がついた。

